

UNITE
FOR
GOOD

広島東南ロータリークラブ

会長方針『みんなで作ろう素敵なクラブ』
～ロータリアンの煌めきが織りなす友情と奉仕の絆～

2026年2月16日（第2986回例会）

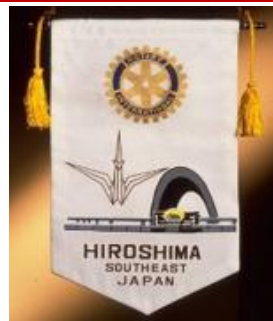
例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 久保和浩 幹事 守下康弘

2月は「平和と紛争予防・紛争解決」月間です

2月ロータリーレート 154円



本日の例会

- 12:30 点 鐘**
ロータリーソング「それでこそロータリー」
来客紹介 (親睦委員会)
会 食
- 12:45 会長時間** (久保会長)
幹事報告 (守下幹事)
委員会報告
・出席報告 (出席担当)
・その他
同好会報告
S.A.A.
- 13:00 プログラム**
13:10 点 鐘
13:10 職場訪問

会長時間

○田上剛ガバナー補佐 ご挨拶

幹事報告

○次週2/23 (月) は祝日のため休会

本日のプログラム

「職場訪問例会」 職業奉仕・経営研究担当

次回例会(3月2日)

ーオープン例会ー

「清酒と水～西条の水と人と科学にまつわるお話～」

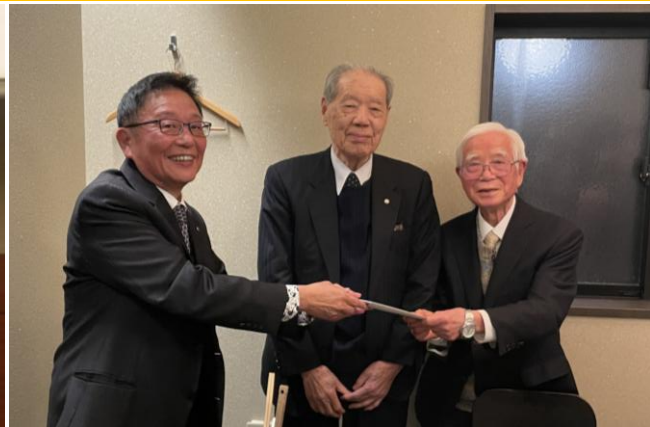
独立行政法人酒類総合研究所

阿久津 武広様

お知らせ



連続出席100%会員表彰(2月)
山下 泉会員(40年)、國司 晃会員(5年)



1月誕生日 土肥雪彦会員へ記念品
(2/9支店長を囲む会にて)

例会出席報告

○2026年1月5日例会	○2026年1月26日例会
会員総数 86名	会員総数 87名
出席免除者 5名	出席 67名
(内出席3名)	欠席 20名
出席率対象会員84名	ゲスト 0名
そのうち 出席60名	ビジター 0名
欠席24名	
メイクアップ 24名	
出席率 100%	

今後の予定

- 第18回ひまわりの会(旧:女性ロータリアンの集い)
と き 2月22日(日)11:00～13:45
ところ ホテルグランヴィア広島
- 第39回支店長会員を囲む会
煌めけ!河豚!たらふく食べよう!冬の陣
と き 2回目:3月2日(月)18:30～
ところ 上関芸陽
- 新入会員歓迎 夜間例会・懇親会
と き 3月16日(月)18:30～20:30
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

鶴羽根神社**1卓越した武士 源頼政の奥方(菖蒲の前)の願いで創建された神社**

- 源三位 皇居に昇殿できる特別な待遇を受けた武士
- 頼政の没後、奥方の菖蒲の前が広島に移住(建久年間)
- 菖蒲の前没後、その遺志として臣下の池田左衛門が神社を創建(元久年間)
- 武神である八幡神(仲哀天皇・神功皇后・応神天皇)を祀る

2特別な崇敬

- 八丁堀【※現在の京口門通り】から東すべての氏神(『知新集』)東部総氏神
- 天保10(1839)年 砂持ち 神社焼失による移転・再建に伴う祭礼
- 広島藩主たちと鶴羽根神社 浅野吉長(5代)、斉肅(9代)、長勲(12代)
- 広島を代表する経済人 保田八十吉と鶴羽根神社



広島市街地図(明治後期)

**卓越した武士 源頼政の奥方(菖蒲の前)の願いで創建された神社**

この地に鎮座する鶴羽根神社の歴史は古く、その創建は鎌倉時代にまで遡ります。その創建のきっかけとなった武士が、鎌倉時代の少し前、平安時代の終わりごろ、目ざましい活躍をした源頼政です。

当時、天皇のお住まいになる皇居に昇殿するには、三位という位をもった貴族にしか許されませんでした。頼政は、武士でありながら、特別に皇居への昇殿を許されるほどの人物でした。これは極めて特別なことで、源三位という彼の通称は、それを示しています。

そのような頼政が、鶴羽根神社と、どのような関りがあるかといいますと、その奥方(菖蒲の前)たつての願いで創建されたことにあります。夫を亡くした奥様は、1190年頃(建久年間)に広島に移住され、東広島の西条あたりを治めていました。しかし、しばらくしてお亡くなりになり、その後、西条で働いていた池田左衛門という武士が、主人(奥方)の意志として1204年頃(元久年間)に創建したと伝えられるのが、この鶴羽根神社です。よって鶴羽根神社は、来月閉城する広島城の約2倍となる、およそ800年の歴史をもつことになります。

武神八幡信を祀る神社

卓越した武士を支えた奥様の願いで創建された神社ですから、神社の神様も武士たちが大切にした神々が祀られています。それが戦いの神である八幡神です。京都府の岩清水八幡宮、大分県の宇佐八幡宮、神奈川県の高岡八幡宮などに祀られている神々で、ヤマトタケルの息子で第14代天皇である仲哀天皇、その奥様で、妊娠しながらも海を渡り戦に赴いた神功皇后、そして2人のお子様である応神天皇です。この神々は武神として崇敬されると共に、父、母、子の関係ですから、家族円満の崇敬を受けつつ時代を重ね、今に至っています。

特別な崇敬 一八丁堀から東 すべての氏神一

そうした神々を主祭神として祀る鶴羽根神社ですが、江戸時代に入り、他の神社に比べ、特別な崇敬を受けるようになります。それを示すのが、広島藩が現在の広島市中心部の地誌として作った『知年新集』という本にある「八丁堀より東 すべての氏神」という記述です。

基本的に、神社には、その神様が主に守って下さる受け持ち区域ともいえる氏子地域というものがあります。もちろん鶴羽根神社にも氏子地域があるわけですが、他の神社とは違うのは、八丁堀、すなわち現在の京口門通りから、府中町の入口あたりまで、すなわち広島城下東部に存在する、ほかの神社の氏子地域をも、鶴羽根神社が総括する位置づけをされていることにあります。これは鶴羽根神社が特別な扱いを受けていたことを示しています。

**特別な崇敬2 一砂持ち一**

「八丁堀より東 すべての氏神」であることから、東部総氏神とも呼ばれる鶴羽根神社ですが、江戸時代、「砂持ち」という特別なお祭りの舞台にもなっています。

実は江戸時代、この鶴羽根神社は、明星院の敷地(現在の饒津神社の境内)に建っていました。しかし火災にあい、現在の場所に移動し再建することが決定します。その再建にあたり、城下の人々が行った祭礼が「砂持ち」です。現在も伊勢の神宮で、20年に1回行われる式年遷宮の終盤頃に行われる「お白石持ち行事」と同じで、一般の人々が川から運んだ、清らかな石や砂で、神社の敷地を敷き詰める行事です。時は天保10(1839)年。新たに鶴羽根神社の建つ敷地を満たす清らかな砂を、広島城下の人々が、パレードを組み、川からこの地へ運んだのです。

広島市では、その御、文久2(1862)年に、鶴羽根神社と同じような砂持加勢という祭礼が行われていますが、鶴羽根神社の方が先であることは知られていません。どうぞ、現在の神社の社殿の下には、広島城下の人々が思いをこめて運んだ砂が敷き詰められていることを知っていただけると嬉しいです。

特別な崇敬3 一藩主たちの崇敬一

庶民から篤い崇敬を受けたことは説明した通りですが、広島藩を統治した藩主たちの崇敬も忘れてはいけません。江戸七賢人に数えられた名君 浅野吉長(5代)は絵馬を奉納、饒津神社を創建した浅野齊肅(9代)は神社の造営資金として500両もの多額の寄付を行っています。そして鶴羽根神社という社名は、激動の時代を生き昭和時代まで活躍した「最後の殿様」と呼ばれた浅野長勲(12代)によって、明治時代の初めにつけられたものです。それまでは鶴羽根神社ではなく、八幡神を祀っていたこと

から八幡宮と呼ばれていましたが、広く崇敬を受けるこの神社を見た長勲が、背後の二葉山の姿を見て、「鶴が羽根を広げたようだ」と思われたことで、鶴羽根神社の名がつけられました。

特別な崇敬4 一保田八十吉の崇敬一

多くの広島人の崇敬を受けてきた鶴羽根神社ですが、その中でも忘れ難いのが保田八十吉です。八十吉は広島市京橋町の豪商で、江戸時代末期から大正時代にかけての広島をリードした人物です。宇品築港の大切さを市民に訴え、資金を調達し、その完成に貢献したことをはじめ、広島銀行と共に、その前身である第百四十六国立銀行の頭取を務めるなど、広島経済界に果たした役目は極めて重いものがあります。その八十吉

の住む京橋町は鶴羽根神社の氏子地域で、八十吉は鶴羽根神社を大切にしましたが、境内には、八十吉を讃えるため、鶴羽根神社の名前をつけた浅野長勲の撰んだ文章を刻んだ石碑、そして八十吉の父である保田于宣の功績を伝える石碑が建てられています。しかしそれ以上に重要なのは、境内の椎木稲荷神社に、保田八十吉が八十吉大明神として祀られていることです。卓越した武士源頼政の奥方の遺志で創建された神社は、広島の人々の思いと、歴史をまといながら時代を重ね、現代に至っているのです。

この場所を二葉の里といいます。それは鶴羽根神社の造営資金として500両もの多額の寄付をした浅野齊肅(9代)の時代、現在の饒津神社を創建した際、神社の名前を二葉山御社、山を二葉山と名付けたことに遡ります。枯れて落ちてても分かれな、松の二葉を吉例とし、この地は歴史を重ねてきました。

以上のような歴史を歩んできた、鶴羽根神社ですが昭和20年8月6日の原爆投下の折には、大きな被害を受けました。



爆心地から1.8キロという距離にありました。幸い境内が広がったため火災の被害はありませんでしたが、爆風により社殿は倒壊してしまいました。

しかしながら社殿の東側にありました参集殿は、倒壊の被害をまぬがれました。被爆直後は被災された方々の救助所となつたらしいのですが、それがひと段落したのちには国の機関の方々が広島復興に来られた時、広島市内には宿泊される建物も少ないということで、そういう方々の宿泊所と

なりました。宿泊をされるということは、お食事も提供しなくてはいけない、そこで始めたのが二葉ということになります。

よくお客様に神社と料亭とはなかなか結び付かないと言われるのですがこういういきさつで料亭を始めることとなったのです。

昭和22年の創業ですので今年で79年を迎えます。創業してからは一般のご宴席もですが結婚式の形態の変化ということもあり、披露宴会場として広くご利用いただくようになりました。元々結婚式だけは鶴羽神社の方



で行っておりました。神前式を広島で一番最初に行った神社が鶴羽神社です。大正時代のはじめ頃に始めたそうです。このように原爆の惨禍を乗り越えて今に至っている樹木や建物が残っております。



料亭 二葉 会食



・昼会席料理

※全て消費税別価格

10,000 円 / 13,000 円 / 15,000 円 / 20,000 円

・夜会席料理

13,000 円 / 15,000 円 / 20,000 円 / 25,000 円

お子さま料理 3,500 円 (消費税別)

御食初膳・焼鯛 4,000 円 (消費税別)



※お料理料金にお飲み物代は含まれておりません
 ※別途 奉仕料・部屋料を御受けいたします
 ※アレルギーや苦手な食材などございましたら予約の際ご相談下さい
 ※料理は季節によって内容が変わります
 ※ご予約は3日前までお受けいたします
 ※写真は全てイメージです



委員会報告

2/9(月)第39回支店長を囲む会 1回目
＝煌めけ！河豚！たらふく食べよう！冬の陣＝

報告:親睦担当 宮原 大

2026年2月9日(月)18時30分より、東南ロータリークラブ恒例の『第39回支店長を囲む会～煌めけ！河豚！たらふく食べよう！冬の陣～』が上関芸陽さんにて開催されました。本年度も会場の大きさの関係から2回に分けての開催となり、今回は第一回目です。

先ず冒頭に久保会長よりご挨拶をいただきました。乾杯の挨拶では発起人でもある山下会員より、広島東南ロータリークラブの歴史、何故この支店長会員を囲む会の開催背景や、この会の持つ意義をお話いただき、宴がはじまりました。毎年皆さんが大変楽しみにされているだけあり、芸陽さんの料理長が腕に縫りをかけての調理内容で、ふぐ刺し、ふぐの炙り鰯、から揚げ、鍋、雑炊、ひれ酒、デザート・・・と、皆さん大満足されたことと思います。



支店長会員の皆さま(濱本聖次会員・戸邊宏二会員・柴田公房会員・稲益強会員)

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

委員会報告

2/9(月)第39回支店長を囲む会
＝煌めけ！河豚！たらふく食べよう！冬の陣＝

第一回は支店長会員さんをはじめ、総勢23名の方々にご参加いただき、美味しい料理と大変楽しい時間を過ごされた様子でした。また、支店長会員さんからは、皆さんユーモアと人柄あふれるスピーチで会場を盛り上げていただき、ありがとうございました。

最後に岩井会員に中締めのご挨拶をいただき、来年も開催できることを祈念しながらの散会となりました。

第二回の開催は2026年3月2日(月)となります。

引き続き盛会となりますよう、平岡リーダーの元、準備して参ります。



2月9日 累計769,000円(本例会14,000円) ニコニコ箱・ペコペコ箱

○広島城南RC高藤孝一様: みなさんこんにちは。広島城南ロータリークラブ野球同好会の高藤です。この度、第32回ガバナー杯の合同チームでの参加を許可していただきありがとうございます。野球を通じて親睦を図り、今後ますますの東南・城南RCの友情を拡大させていただけたらと思います。引き続きよろしく願いいたします。今週末には城南RCが担当しておりますグループ6・7合同インターシティ・ミーティングが開催されます。会議を広島コンベンションホール、懇親会をシェラトングランドホテル広島にて開催されます。ご参加宜しく願いします。(1口)

○山下泉: 東南RC入会40年になりました。(10口)

○神田敏治: 本日の卓話講師の石井様は私の氏神様鶴羽根神社の宮司のご母堂です。鶴羽根神社には日ごろから大変お世話になっています。(1口)

○柴田公房: ANAクラウンプラザホテル広島より皆様のボックスに、3月開催のイベント

- ①「春の桜花ディナー～桜の音 和JazzNight～」、
- ②「桃李×ヴィノブルヴィンヤード特別賞味会」、
- ③「雲海 春の日本酒銘酒会」のご案内を入れさせていただきました。ご不明な点がございましたら、ホテルスタッフまでお気軽にお尋ねください。皆さまのご利用を心よりお待ちしております。(1口)

○林大一郎: 2月5日の中国新聞「トップの素顔」に私のインタビュー記事を書せていただきました。普段、インタビューを受けることがないので緊張しました。(1口)



他クラブ例会変更・休会情報(受付12:00～12:30)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 2/17(火) 広島安芸RC(グランヴィア) | 2/24(火) 広島安芸RC(グランヴィア) |
| 2/18(水) 広島陵北RC(リーガ) | 2/25(水) 広島陵北RC(リーガ) |
| 2/19(木) 広島北RC(グランヴィア) | 2/26(木) 広島北RC(グランヴィア) |
| 2/19(木) 広島安佐RC(リーガ) | 2/26(木) 広島安佐RC(リーガ) |
| 2/24(火) 広島西南RC(ANAクラウン) | |

3月は「水と衛生月間」です

日付	例会・プログラム	クラブ行事他	委員会活動	同好会
1-	2/ 第2987回 例会 「清酒と水 ～西条の水と人 と科学にまつわるお話～」 独立行政法人酒類総合研究所 阿久津武広様	1/ 米山奨学生歓送会 2/ 定例理事役員会	2/ オープン例会 第39回支店長を囲む会 (2回目ふぐの陣)	
10-	9/ 第2988回 例会 「新入会員卓話」 稲益強会員	9/ 次年度理事役員会	9/ 100万ドル食事 (ポリオ寄付)	11/ガバナー杯 決起大会
	16/ 第2989回 例会 「新会員歓迎夜間例会」 親睦担当	15/ 会長エクスト・地区チーム ランニングセミナー(旧PETS)		15/ゴルフ
20-	23/ 第2990回 例会 「健康・医療に因んだ話」 神辺真之会員	23/ 次年度第1回 クラブ・アッセンブリー		19/ガバナー杯 前夜祭 20-22/ ガバナー杯
30-	30/ 休会			
31-	(クラブ定款第7条第1節(d))			